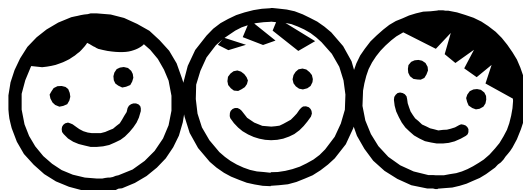


高 校 生 の 男 女 共 同 参 画 と 男 女 間 の 暴 力 に 関 す る ア ン ケ ー ト 調 査 結 果 に つ い て



平成30年9月

鹿角市市民部市民共動課

調査の概要

1. 調査目的

男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画について考えるきっかけづくりや人権教育の推進などを図り、男女がそれぞれを認め合い、思いやる関係の構築と格差・差別、暴力のない社会を目指すため、DVについての認識を浸透させていきたいと考えています。

本調査では、高校生における男女共同参画と異性に対する暴力の意識に関する実態の把握を行うことで、今後の若年層に向けた男女共同参画事業の参考とし、男女共同参画施策に役立てていくことを目的としています。

2. 調査対象

鹿角市内の公立高校(花輪高校、十和田高校)に在籍する高校2年生を対象としました。

3. 調査方法

鹿角市内の協力校に対して、調査表の配布・回収を行いました。

クラス担任を通じて生徒に調査票を配付してもらい、調査票の記入後、回収用封筒に入れ回収を行いました。

4. 調査期間

平成30年7月10日(火)から7月27日(金)まで

5. 調査内容

- ・男女共同参画に関する用語の認知度について・・・・・・・・・・P 1
- ・学校における男女共同参画について・・・・・・・・・・P 3
- ・結婚、家庭、離婚に対する考え方について・・・・・・・・・・P 4
- ・デートDVについて・・・・・・・・・・P 9
- ・DV行為に対する意識について・・・・・・・・・・P 11
- ・DV行為に関する相談機関について・・・・・・・・・・P 25
- ・性別に関わらず、生きやすい社会にするために必要なことについて・・・・P 26

6. 調査結果

調査票送付数	186
調査票回収数	185
回収率	99.5%

7. アンケート集計結果の公表について

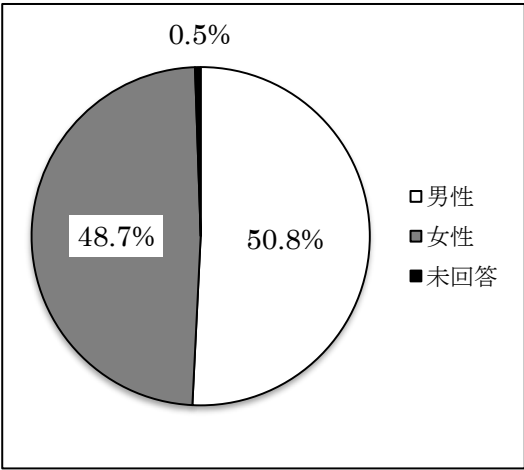
本調査の集計結果は、各校に配布するほか、市ホームページ上で公開します。また、鹿角市男女共同参画推進会議に報告するとともに、必要に応じて市民に周知し、若年層に向けた男女共同参画施策の企画立案の基礎資料といたします。

その際、学校名の記載は行わず、統計的に取り扱うこととします。

○回答者の属性

問1. あなたの性別は。

	人数 (人)	割合 (%)
男 性	94	50.8
女 性	90	48.7
未 回 答	1	0.5
計	185	100



○調査の結果

※性別について、未回答者の回答も全体の値に含む

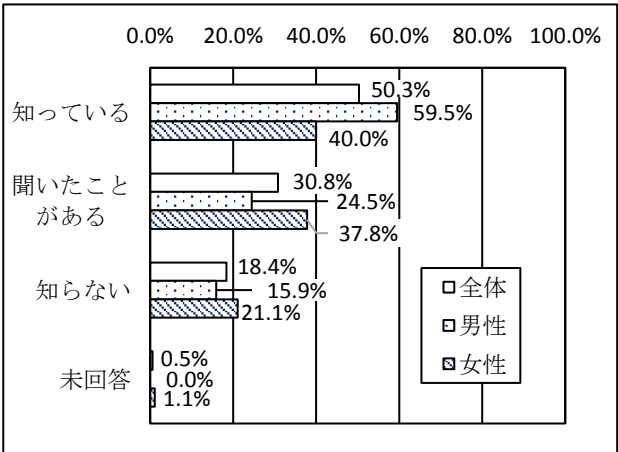
・男女共同参画に関する用語の認知度について

問2. あなたは、次のような用語について知っている、または聞いたことがありますか。

(1) 男女共同参画社会

約 5 割の生徒が「知っている」と回答しました。

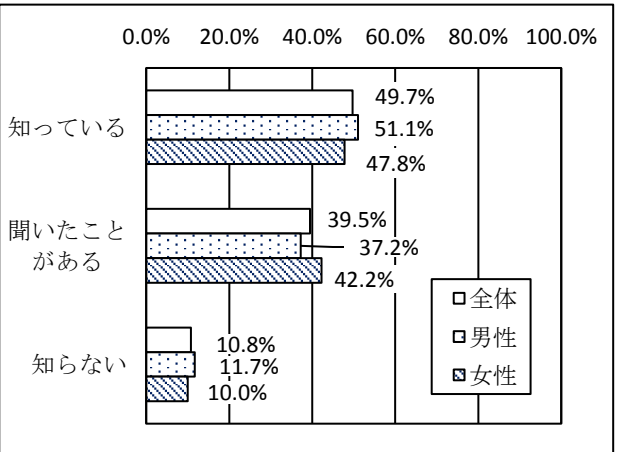
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	93	50.3	56	59.5	36	40.0
聞いたことがある	57	30.8	23	24.5	34	37.8
知らない	34	18.4	15	16.0	19	21.1
未回答	1	0.5	0	0.0	1	1.1
計	185	100	94	100	90	100



(2) ワーク・ライフ・バランス

約 5 割の生徒が「知っている」と回答しました。

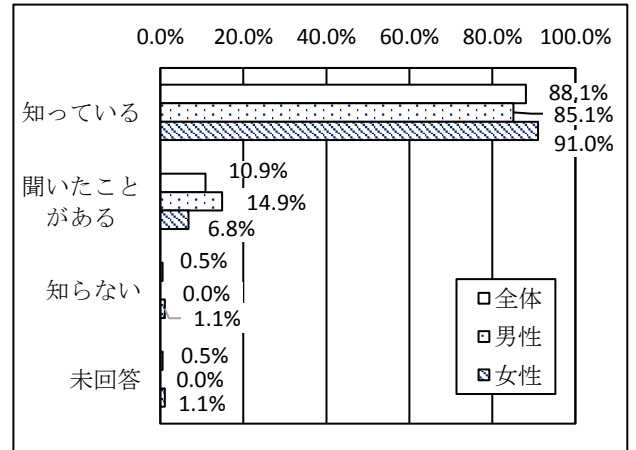
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	92	49.7	48	51.1	43	47.8
聞いたことがある	73	39.5	35	37.2	38	42.2
知らない	20	10.8	11	11.7	9	10.0
計	185	100	94	100	90	100



(3) DV

8割以上の生徒が「知っている」と回答しました。

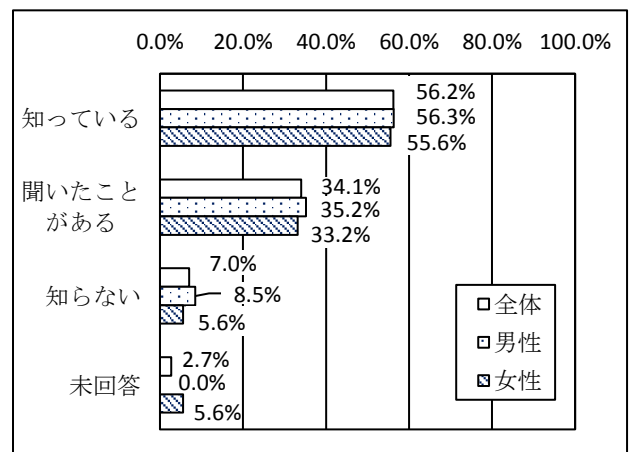
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	163	88.1	80	85.1	82	91.0
聞いたことがある	20	10.9	14	14.9	6	6.8
知らない	1	0.5	0	0.0	1	1.1
未回答	1	0.5	0	0.0	1	1.1
計	185	100	94	100	90	100



(4) 育児・介護休業法

5割以上の生徒が「知っている」と回答しました。

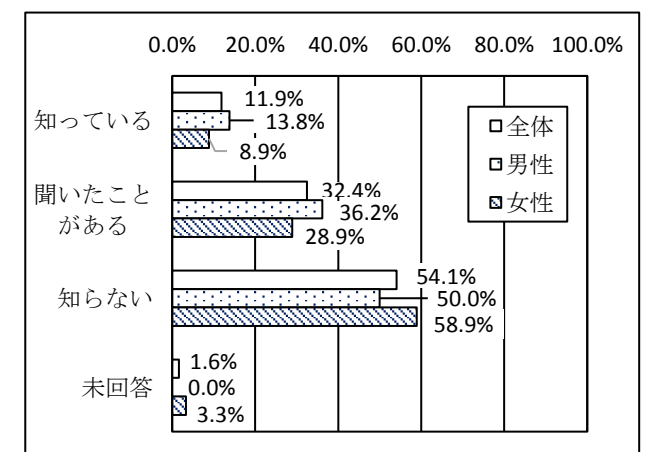
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	104	56.2	53	56.3	50	55.6
聞いたことがある	63	34.1	33	35.2	30	33.2
知らない	13	7.0	8	8.5	5	5.6
未回答	5	2.7	0	0.0	5	5.6
計	185	100	94	100	90	100



(5) 固定的性別役割分担

5割以上の生徒が「知らない」と回答しました。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	22	11.9	13	13.8	8	8.9
聞いたことがある	60	32.4	34	36.2	26	28.9
知らない	100	54.1	47	50.0	53	58.9
未回答	3	1.6	0	0.0	3	3.3
計	185	100	94	100	90	100

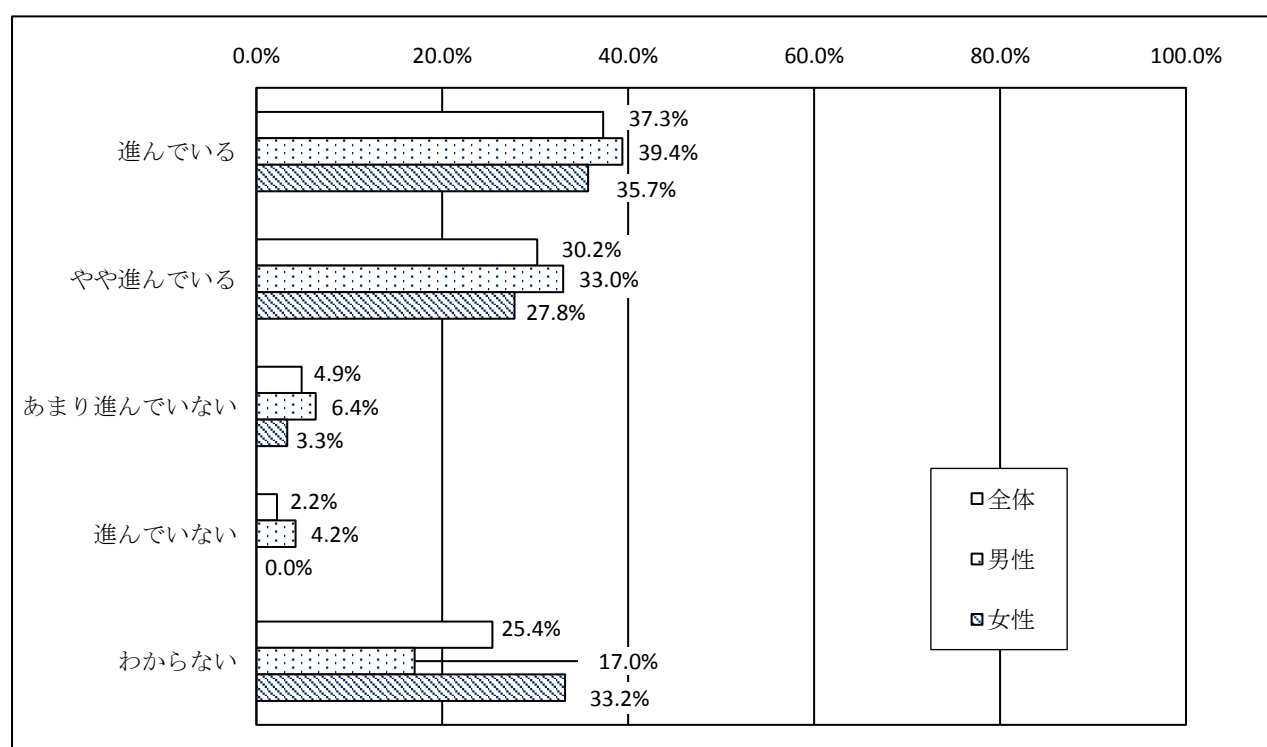


・学校における男女共同参画について

問3. 学校において男女共同参画は進んでいると思いますか。

6割以上の生徒が「進んでいる」または「やや進んでいる」と回答し、男性の割合が高くなっています。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
進んでいる	69	37.3	67.5	37	39.4	72.4	32	35.7	63.5
やや進んでいる	56	30.2		31	33.0		25	27.8	
あまり進んでいない	9	4.9	7.1	6	6.4	10.6	3	3.3	3.3
進んでいない	4	2.2		4	4.2		0	0.0	
わからない	47	25.4		16	17.0		30	33.2	
計	185	100		94	100		90	100	



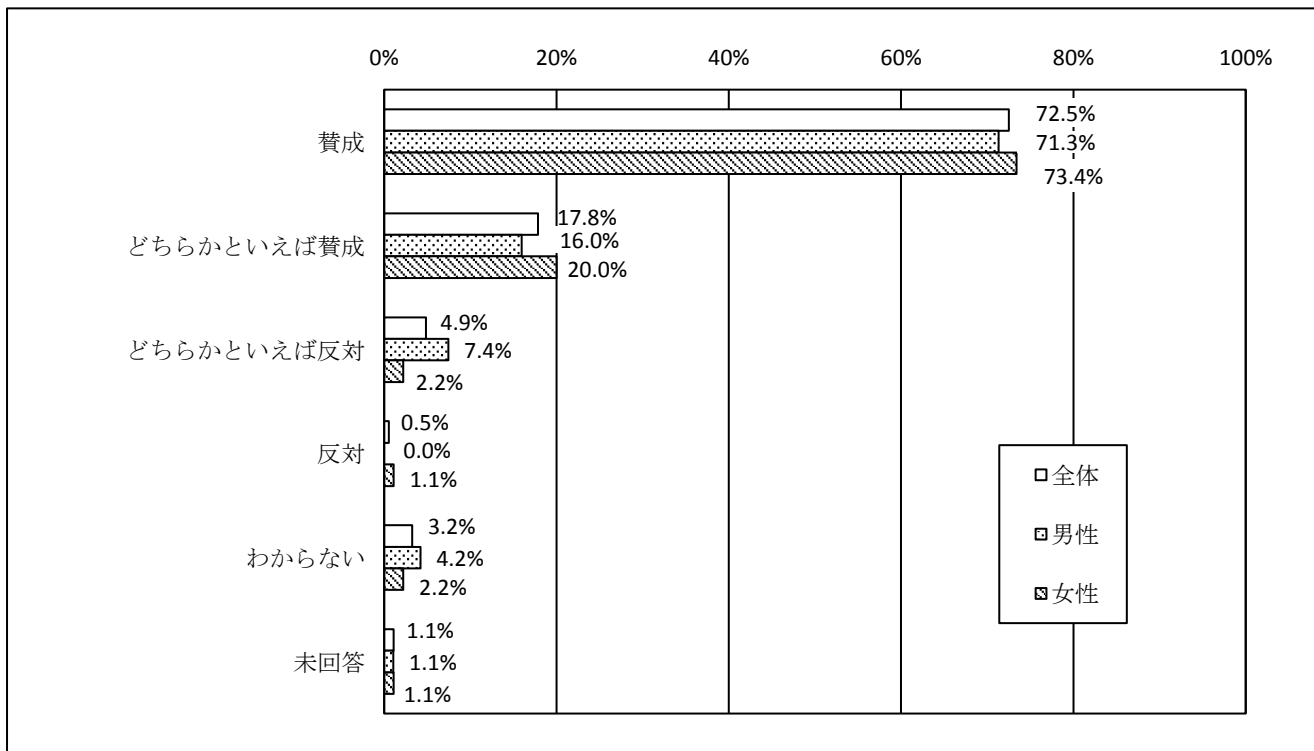
・結婚、家庭、離婚に対する考え方について

問4. 結婚、家庭、離婚について、あなたの意見を教えてください。

(1)結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

約9割の生徒が「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答し、女性の割合が高くなっています。

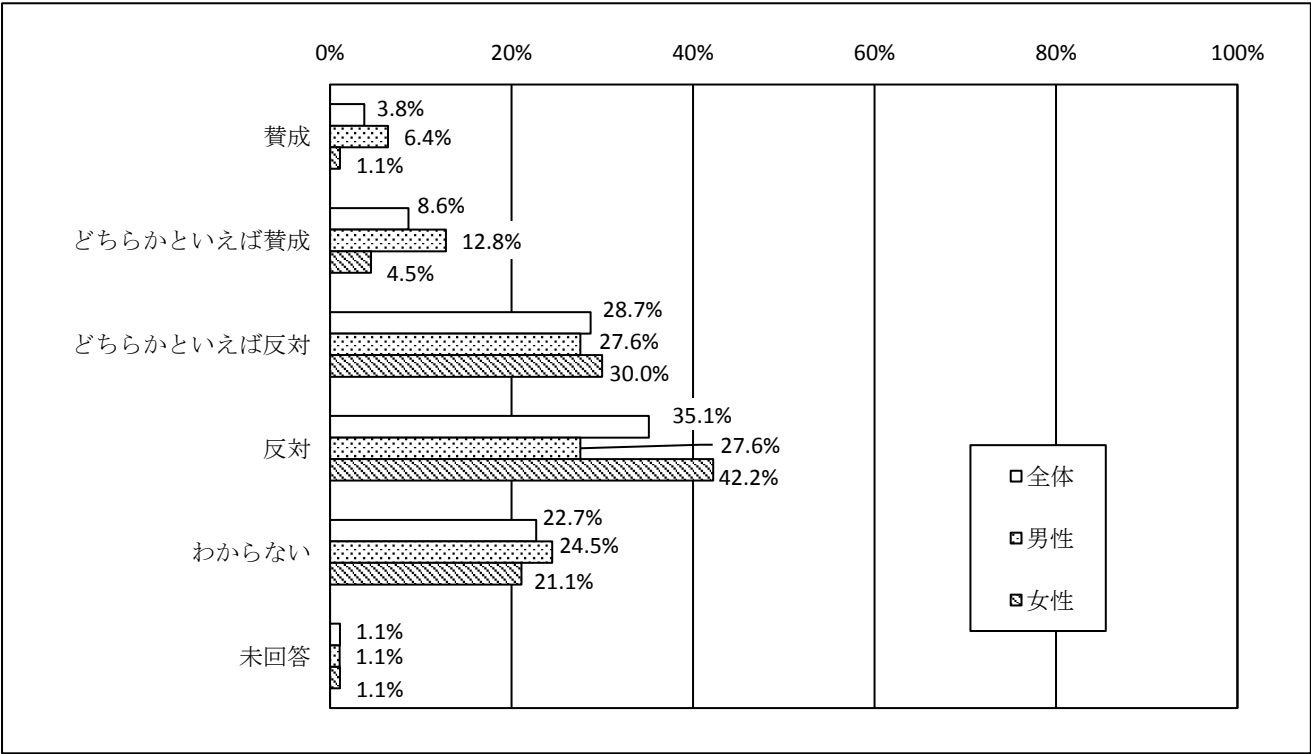
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
賛成	134	72.5	90.3	67	71.3	87.3	66	73.4	93.4
どちらかといえば賛成	33	17.8		15	16.0		18	20.0	
どちらかといえば反対	9	4.9	5.4	7	7.4	7.4	2	2.2	3.3
反対	1	0.5		0	0.0		1	1.1	
わからない	6	3.2		4	4.2		2	2.2	
未回答	2	1.1		1	1.1		1	1.1	
計	185	100		94	100		90	100	



(2) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

6割以上の生徒が「どちらかといえば反対」または「反対」と回答し、女性の割合が高くなっています。

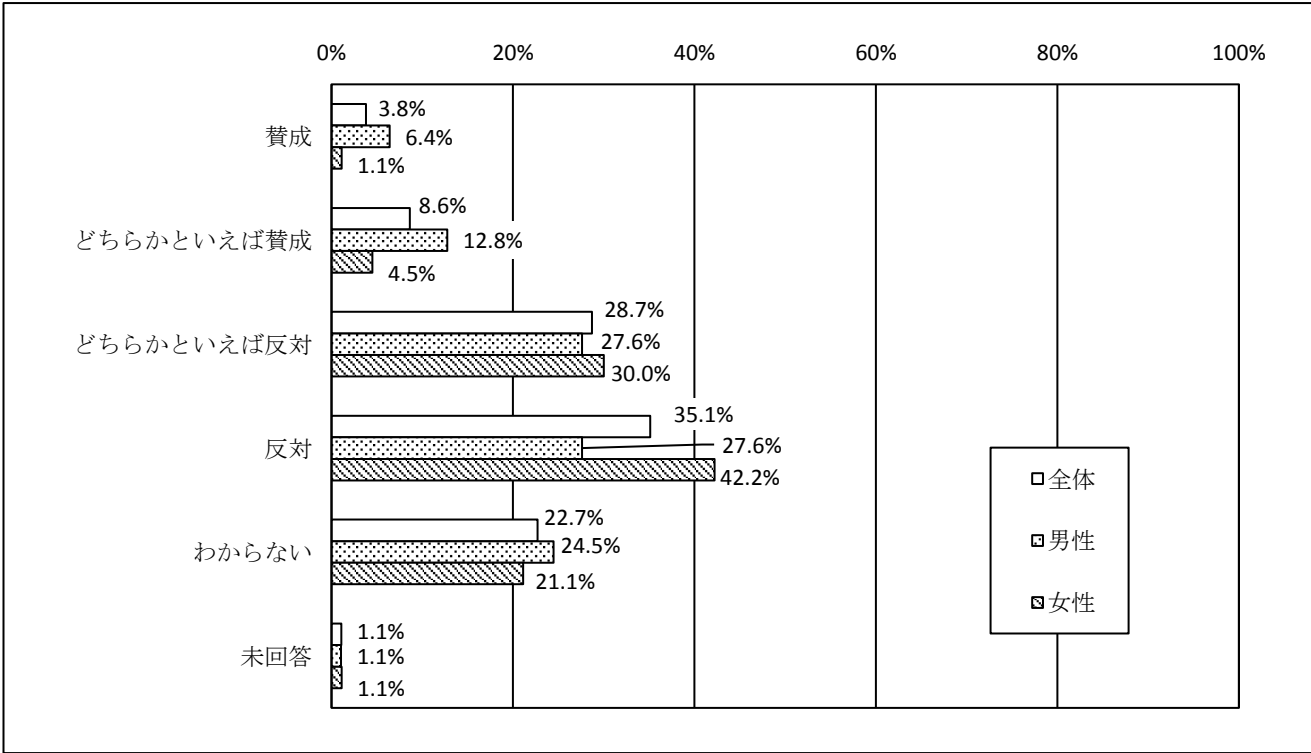
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
賛成	7	3.8	12.4	6	6.4	19.2	1	1.1	5.6
どちらかといえば賛成	16	8.6		12	12.8		4	4.5	
どちらかといえば反対	53	28.7	63.8	26	27.6	55.2	27	30.0	72.2
反対	65	35.1		26	27.6		38	42.2	
わからない	42	22.7		23	24.5		19	21.1	
未回答	2	1.1		1	1.1		1	1.1	
計	185	100		94	100		90	100	



(3) 女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活したほうがよい

5割以上の生徒が「どちらかといえば反対」または「反対」と回答し、女性の割合が高くなっています。

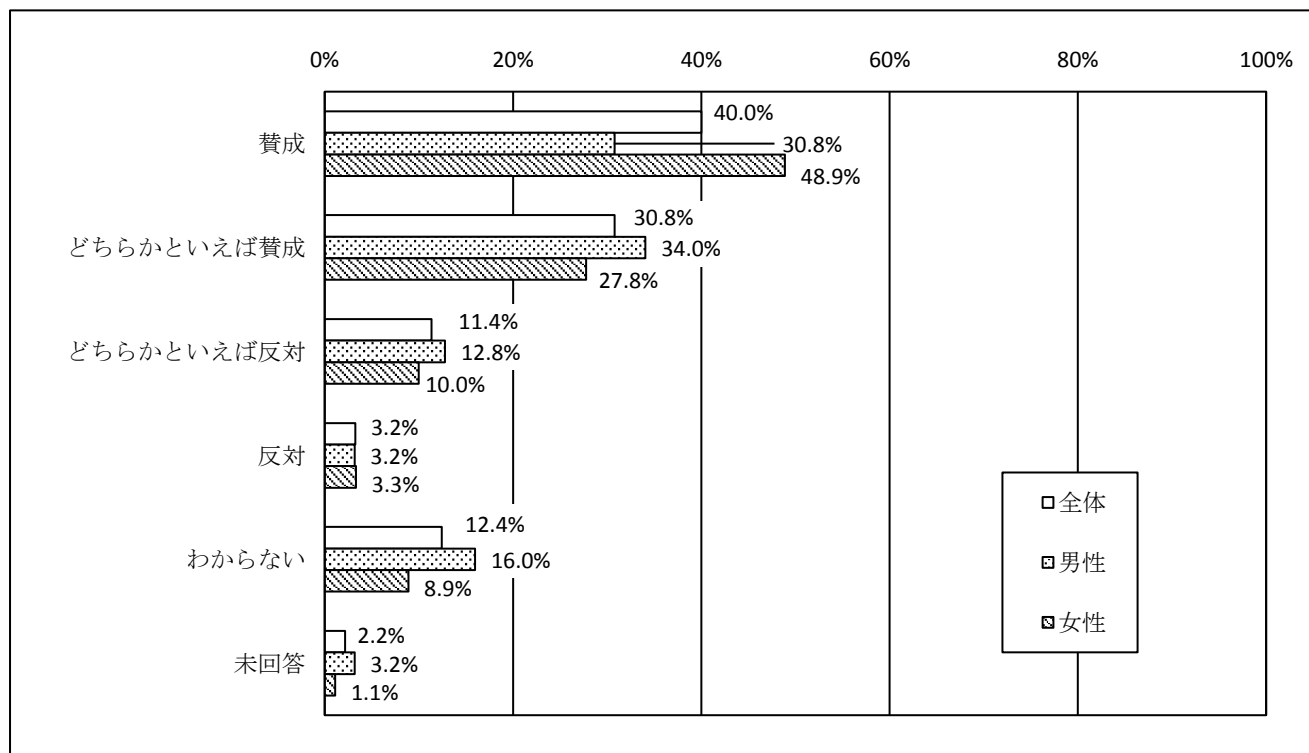
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
賛成	12	6.5	24.3	8	8.5	24.5	4	4.5	24.5
どちらかといえば賛成	33	17.8		15	16.0		18	20.0	
どちらかといえば反対	44	23.8	56.8	20	21.3	54.3	24	26.7	58.8
反対	61	33.0		31	33.0		29	32.1	
わからない	33	17.8		19	20.1		14	15.6	
未回答	2	1.1		1	1.1		1	1.1	
計	185	100		94	100		90	100	



(4) 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない

約7割の生徒が「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答し、女性の割合が高くなっています。

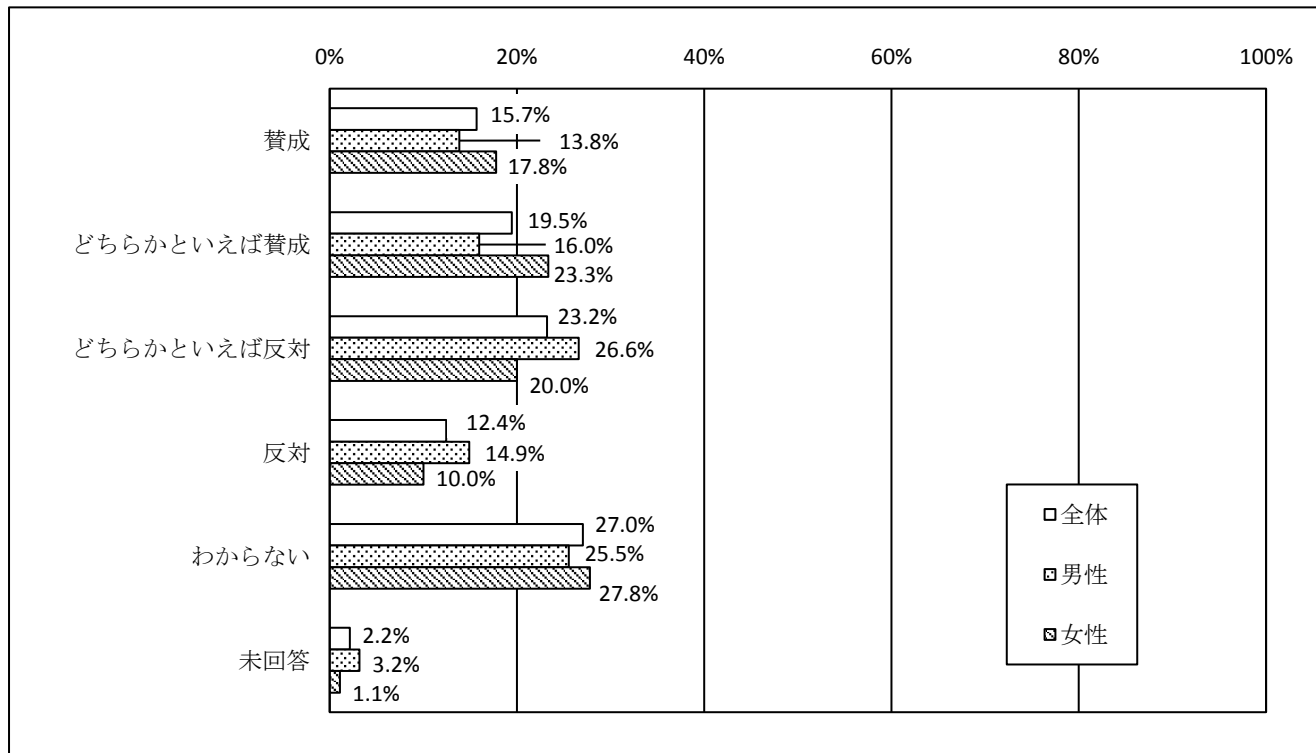
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
賛成	74	40.0	70.8	29	30.8	64.8	44	48.9	76.7
どちらかといえば賛成	57	30.8		32	34.0		25	27.8	
どちらかといえば反対	21	11.4	14.6	12	12.8	16.0	9	10.0	13.3
反対	6	3.2		3	3.2		3	3.3	
わからない	23	12.4		15	16.0		8	8.9	
未回答	4	2.2		3	3.2		1	1.1	
計	185	100		94	100		90	100	



(5)結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい

3割以上の生徒が「どちらかといえば反対」または「反対」と回答し、男性の割合が高くなっています。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
賛成	29	15.7	35.2	13	13.8	29.8	16	17.8	41.1
どちらかといえば賛成	36	19.5		15	16.0		21	23.3	
どちらかといえば反対	43	23.2	35.6	25	26.6	41.5	18	20.0	30.0
反対	23	12.4		14	14.9		9	10.0	
わからない	50	27.0		24	25.5		25	27.8	
未回答	4	2.2		3	3.2		1	1.1	
計	185	100		94	100		90	100	



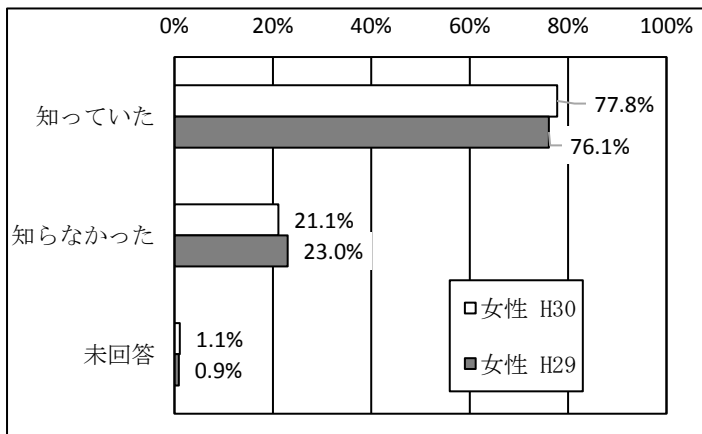
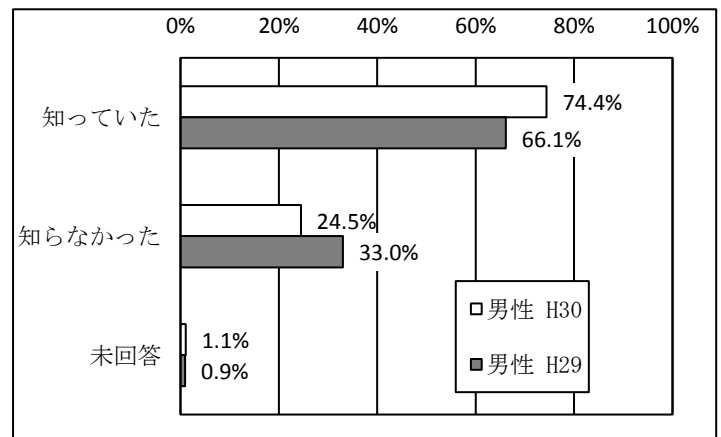
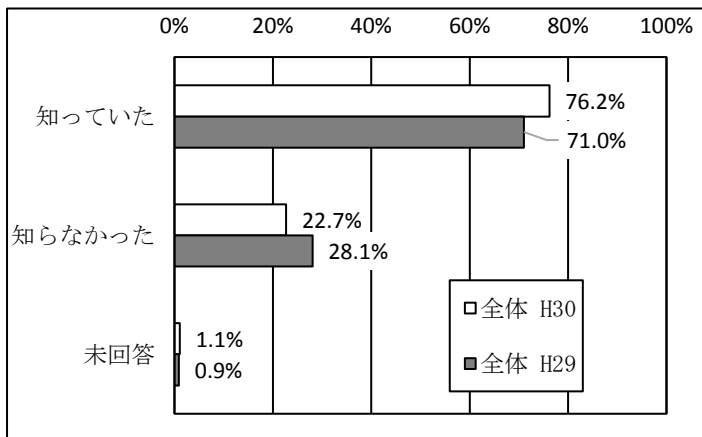
・デートDVについて

問5. あなたは、デートDVという言葉を知っていますか。

「デートDV」について、7割以上の生徒が「知っていた」と回答しました。また、その割合は前回調査時（平成29年）より高くなっています。

	全体				男性				女性			
	H30		H29		H30		H29		H30		H29	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っていた	141	76.2	157	71.0	70	74.4	70	66.1	70	77.8	86	76.1
知らなかった	42	22.7	62	28.1	23	24.5	35	33.0	19	21.1	26	23.0
未回答	2	1.1	2	0.9	1	1.1	1	0.9	1	1.1	1	0.9
計	185	100	221	100	94	100	106	100	90	100	113	100

※鹿角市男女共同参画計画の評価指標であることから、前回調査時との比較を実施。

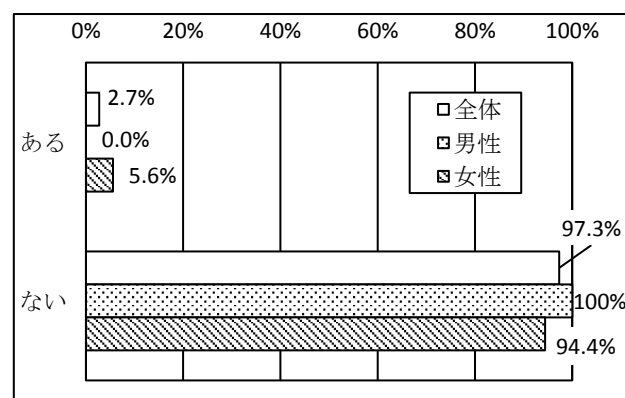


※デートDV:結婚していない男女の間で、親密な相手を自分の思い通りに動かす為に使われる、身体や言葉、態度によるあらゆる種類の暴力のことをいいます。

問6. あなたは、これまでに交際相手からデートDVと思われる行為を受けたことがありますか。

9割以上の生徒が「ない」と回答しました。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ある	5	2.7	0	0.0	5	5.6
ない	180	97.3	94	100	85	94.4
計	185	100	94	100	90	100

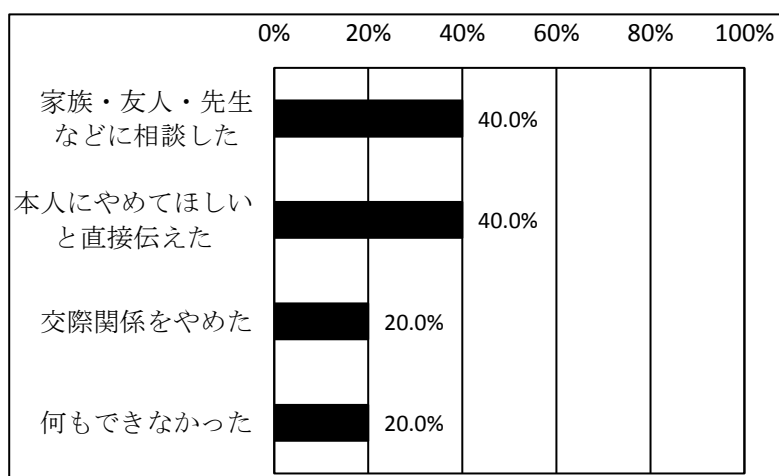


問6-1. あると回答した人に質問します。デートDVと思われる行為を受けたときに、どのような対応をしましたか。(複数回答)

4割の生徒が「家族・友人・先生などに相談した」、「本人にやめてほしいと直接伝えた」と回答し、2割の生徒が「交際関係をやめた」、「何もできなかった」と回答しました。

	人数(人)	割合(%)
家族・友人・先生などに相談した	2	40.0
本人にやめてほしいと直接伝えた	2	40.0
交際関係をやめた	1	20.0
何もできなかった	1	20.0

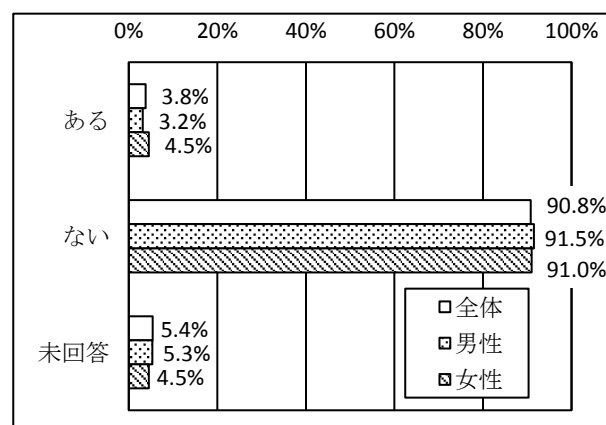
※問6で「ある」と回答した5人に対する割合



問7. あなたの友人やクラスメートが、デートDVと思われる行為を受けているのを見たり聞いたりしたことがありますか。

9割以上の生徒が「ない」と回答しました。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ある	7	3.8	3	3.2	4	4.5
ない	168	90.8	86	91.5	82	91.0
未回答	10	5.4	5	5.3	4	4.5
計	185	100	94	100	90	100



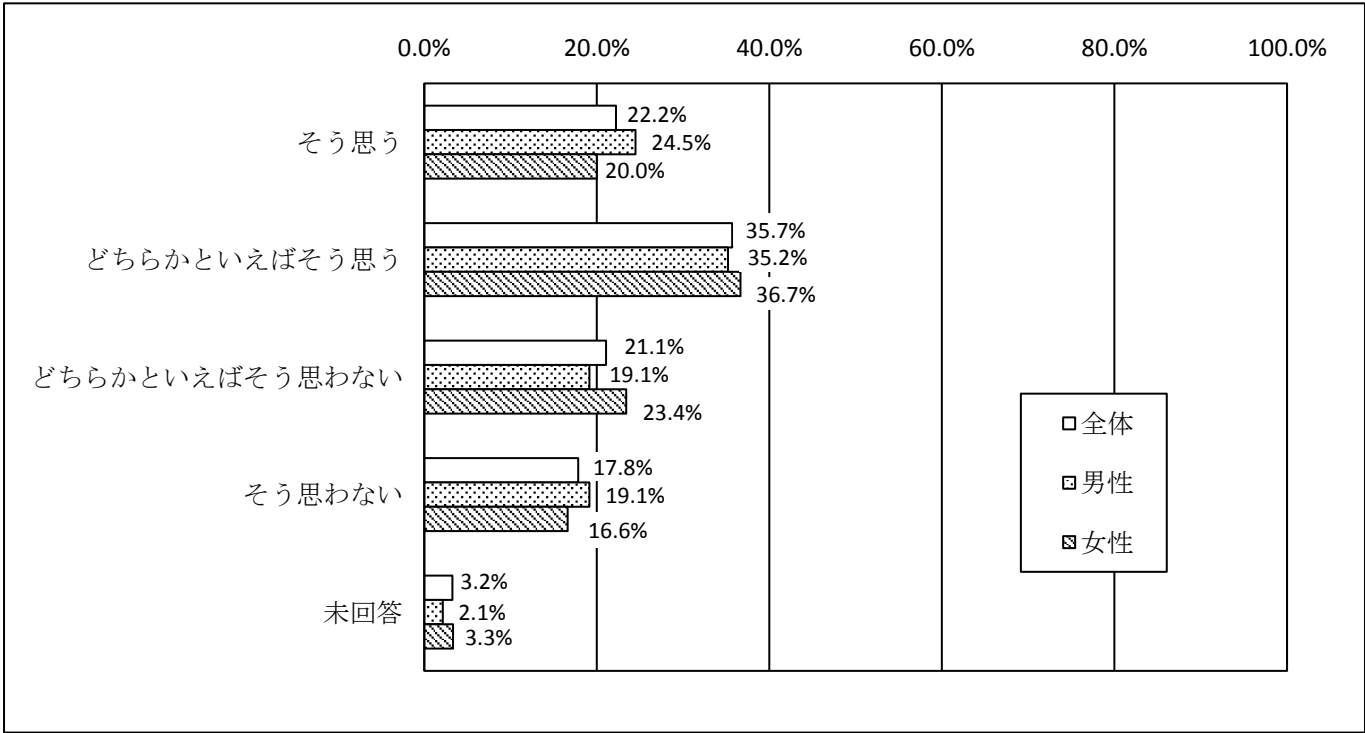
・DV行為に対する意識について

問8. あなたは、夫婦や恋人同士で起こる次のようなことをDV行為だと思いますか。

(1)何を言っても無視する

5割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性の割合が高くなっています。

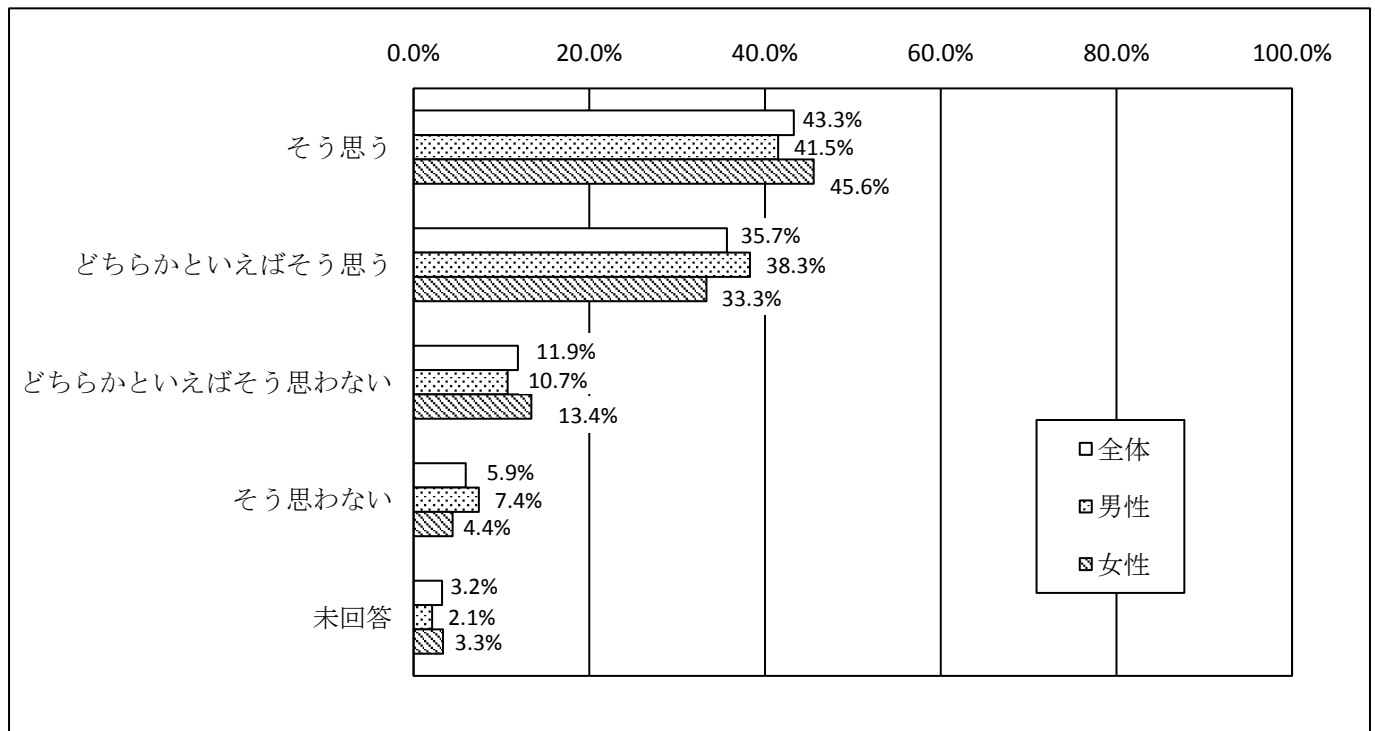
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	41	22.2	57.9	23	24.5	59.7	18	20.0	56.7
どちらかといえばそう思う	66	35.7		33	35.2		33	36.7	
どちらかといえばそう思わない	39	21.1	38.9	18	19.1	38.2	21	23.4	40.0
そう思わない	33	17.8		18	19.1		15	16.6	
未回答	6	3.2		2	2.1		3	3.3	
計	185	100		94	100		90	100	



(2) 大声でどなる

約8割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しています。男女間の差はほとんどありません。

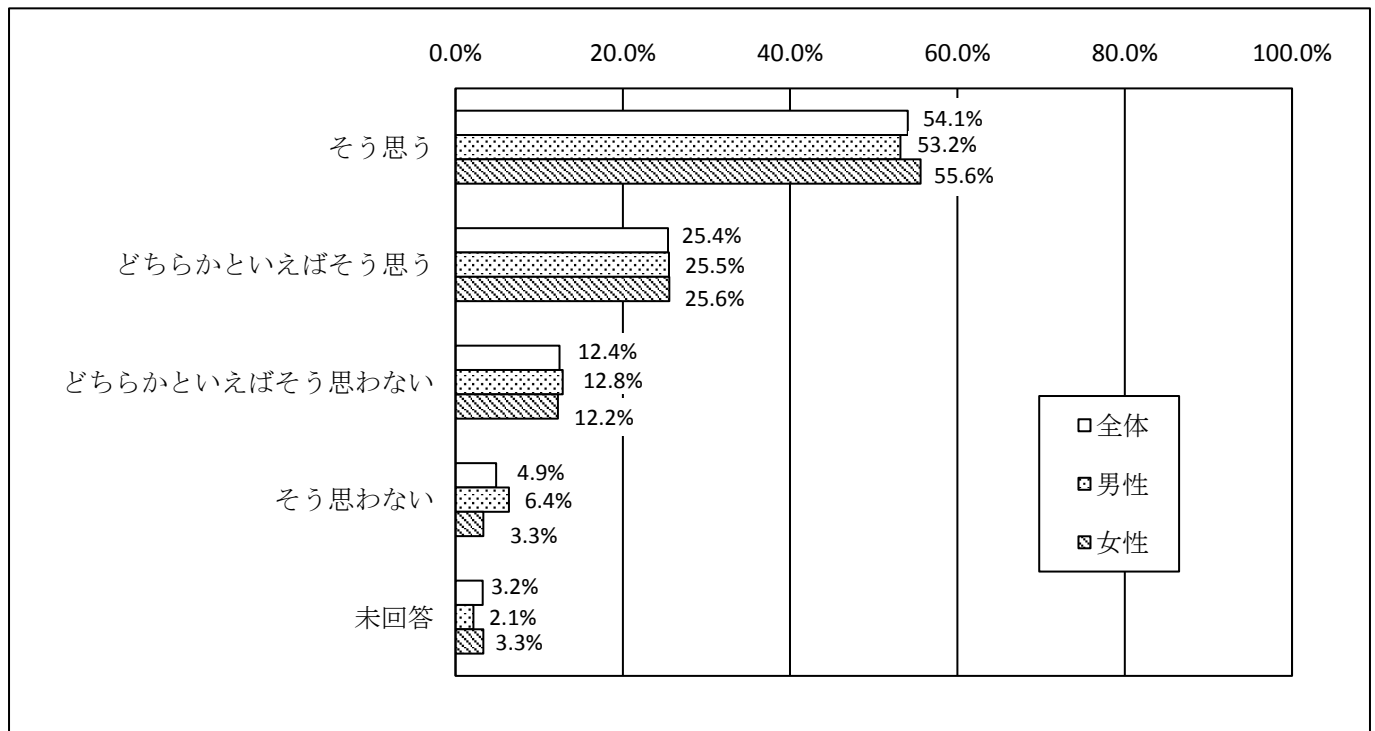
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	80	43.3	79.0	39	41.5	79.8	41	45.6	78.9
どちらかといえばそう思う	66	35.7		36	38.3		30	33.3	
どちらかといえばそう思わない	22	11.9	17.8	10	10.7	18.1	12	13.4	17.8
そう思わない	11	5.9		7	7.4		4	4.4	
未回答	6	3.2		2	2.1		3	3.3	
計	185	100		94	100		90	100	



(3)相手の携帯電話をチェックして、異性の連絡先を消せと言う

約8割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高くなっています。

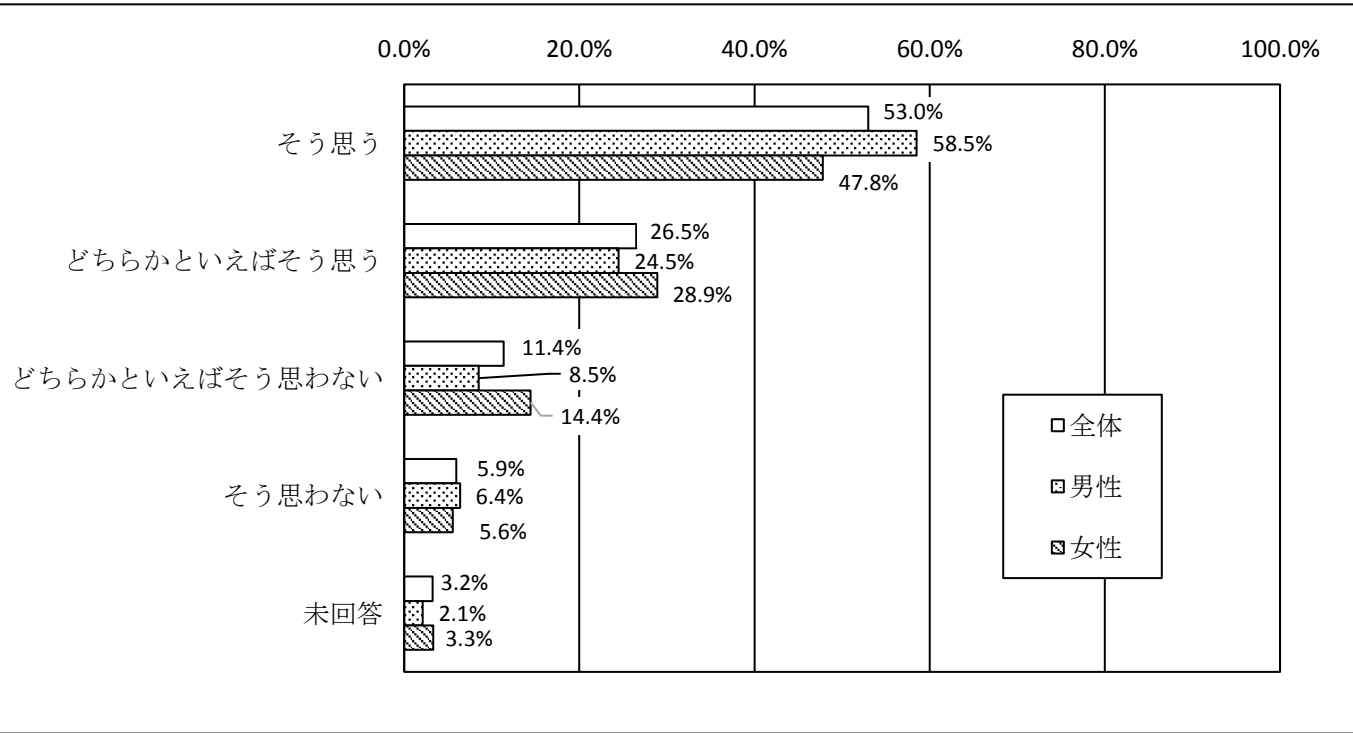
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	100	54. 1	79. 5	50	53. 2	78. 7	50	55. 6	81. 2
どちらかといえばそう思う	47	25. 4		24	25. 5		23	25. 6	
どちらかといえばそう思わない	23	12. 4	17. 3	12	12. 8	19. 2	11	12. 2	15. 6
そう思わない	9	4. 9		6	6. 4		3	3. 3	
未回答	6	3. 2		2	2. 1		3	3. 3	
計	185	100		94	100		90	100	



(4)しょっちゅう電話をしたり、相手の行動を制限しようとする

約8割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性の割合が高くなっています。

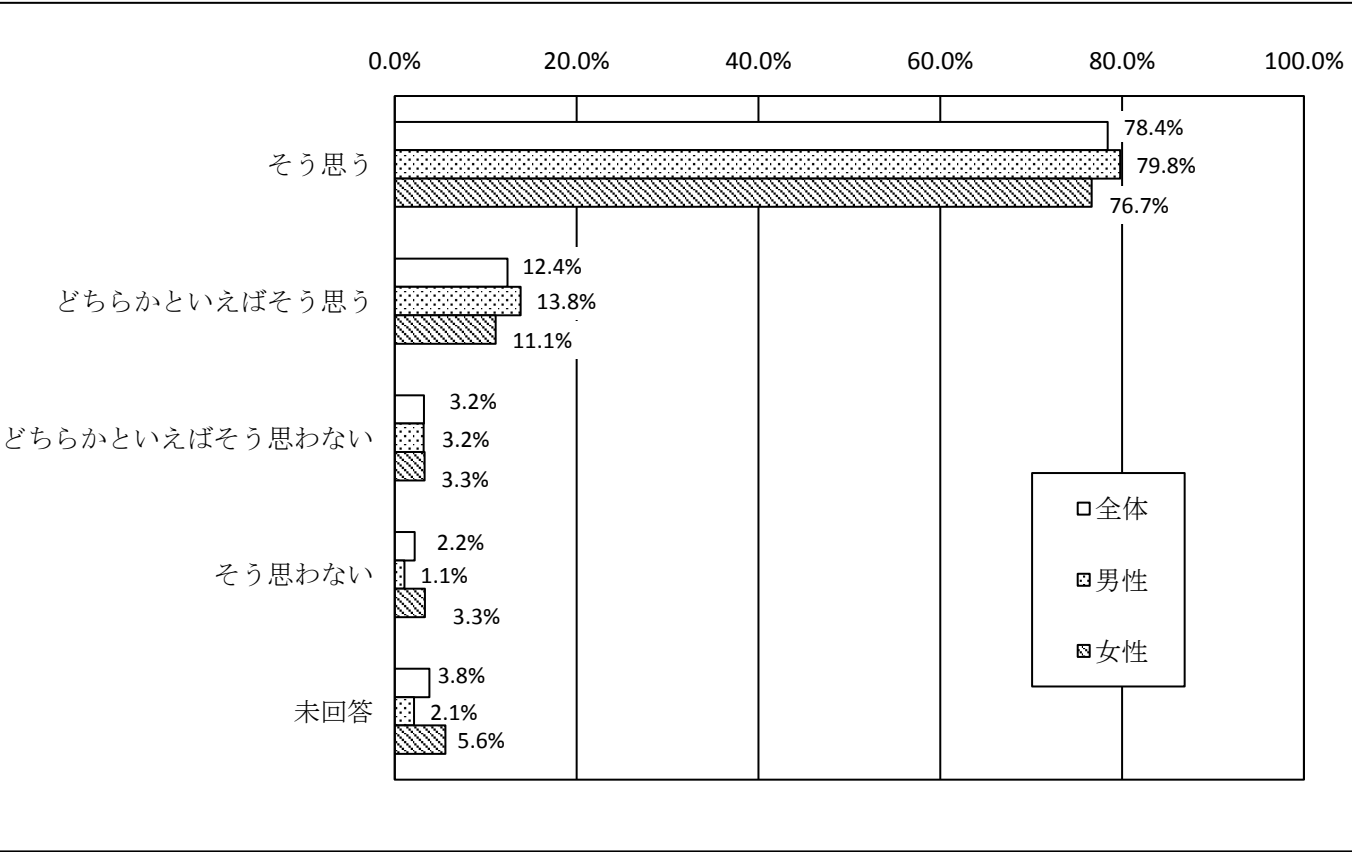
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	98	53.0	79.5	55	58.5	83.0	43	47.8	76.7
どちらかといえばそう思う	49	26.5		23	24.5		26	28.9	
どちらかといえばそう思わない	21	11.4	17.3	8	8.5	14.9	13	14.4	20.0
そう思わない	11	5.9		6	6.4		5	5.6	
未回答	6	3.2		2	2.1		3	3.3	
計	185	100		94	100		90	100	



(5)お金を取り上げる

約9割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性の割合が高くなっています。

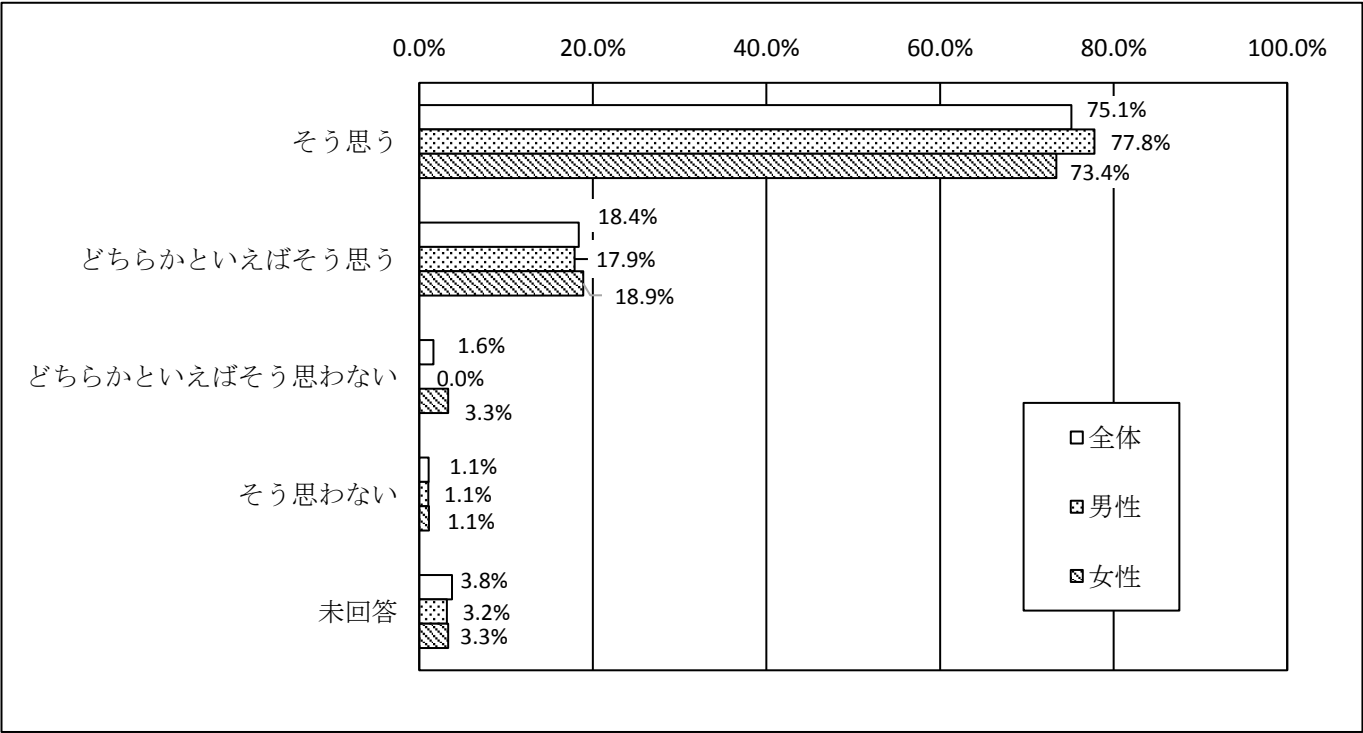
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	145	78.4	90.8	75	79.8	93.6	69	76.7	87.8
どちらかといえばそう思う	23	12.4		13	13.8		10	11.1	
どちらかといえばそう思わない	6	3.2	5.4	3	3.2	4.3	3	3.3	6.6
そう思わない	4	2.2		1	1.1		3	3.3	
未回答	7	3.8		2	2.1		5	5.6	
計	185	100		94	100		90	100	



(6)なぐるふりをしておどす

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性の割合が高くなっています。

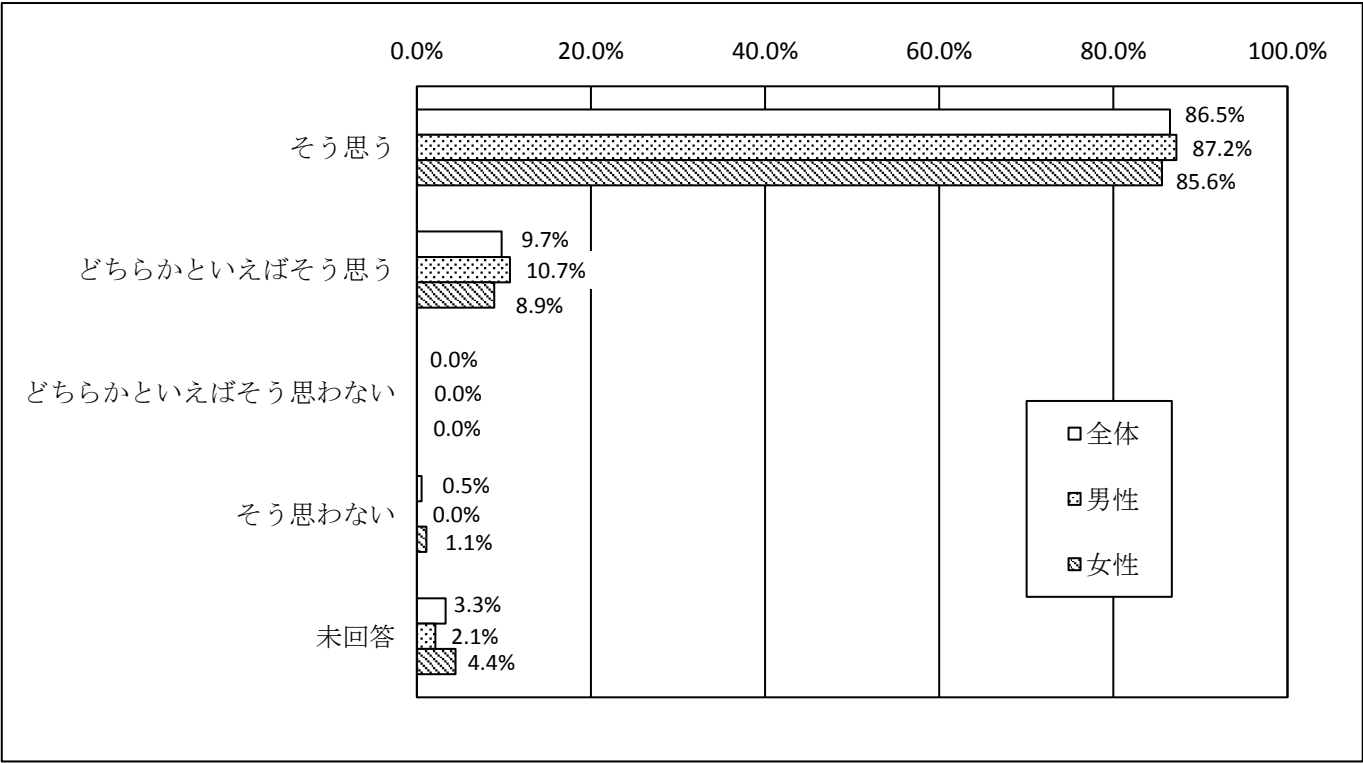
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	139	75.1	93.5	73	77.8	95.7	66	73.4	92.3
どちらかといえばそう思う	34	18.4		17	17.9		17	18.9	
どちらかといえばそう思わない	3	1.6	2.7	0	0.0	1.1	3	3.3	4.4
そう思わない	2	1.1		1	1.1		1	1.1	
未回答	7	3.8		3	3.2		3	3.3	
計	185	100		94	100		90	100	



(7)ものを投げつける

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性の割合が高くなっています。

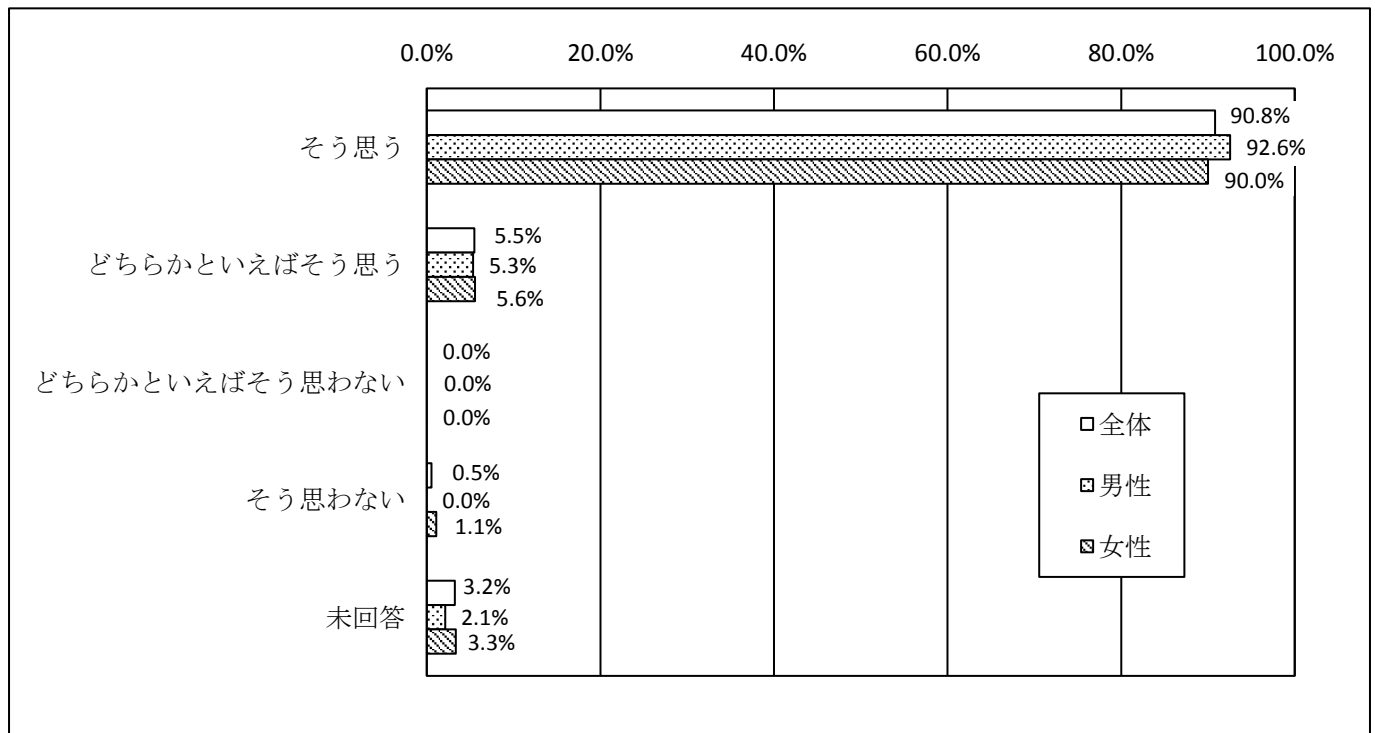
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	160	86.5	96.2	82	87.2	97.9	77	85.6	94.5
どちらかといえばそう思う	18	9.7		10	10.7		8	8.9	
どちらかといえばそう思わない	0	0.0	0.5	0	0.0	0.0	0	0.0	1.1
そう思わない	1	0.5		0	0.0		1	1.1	
未回答	6	3.3		2	2.1		4	4.4	
計	185	100		94	100		90	100	



(8) 身体を傷つける可能性のある物でたたく

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性の割合が高くなっています。

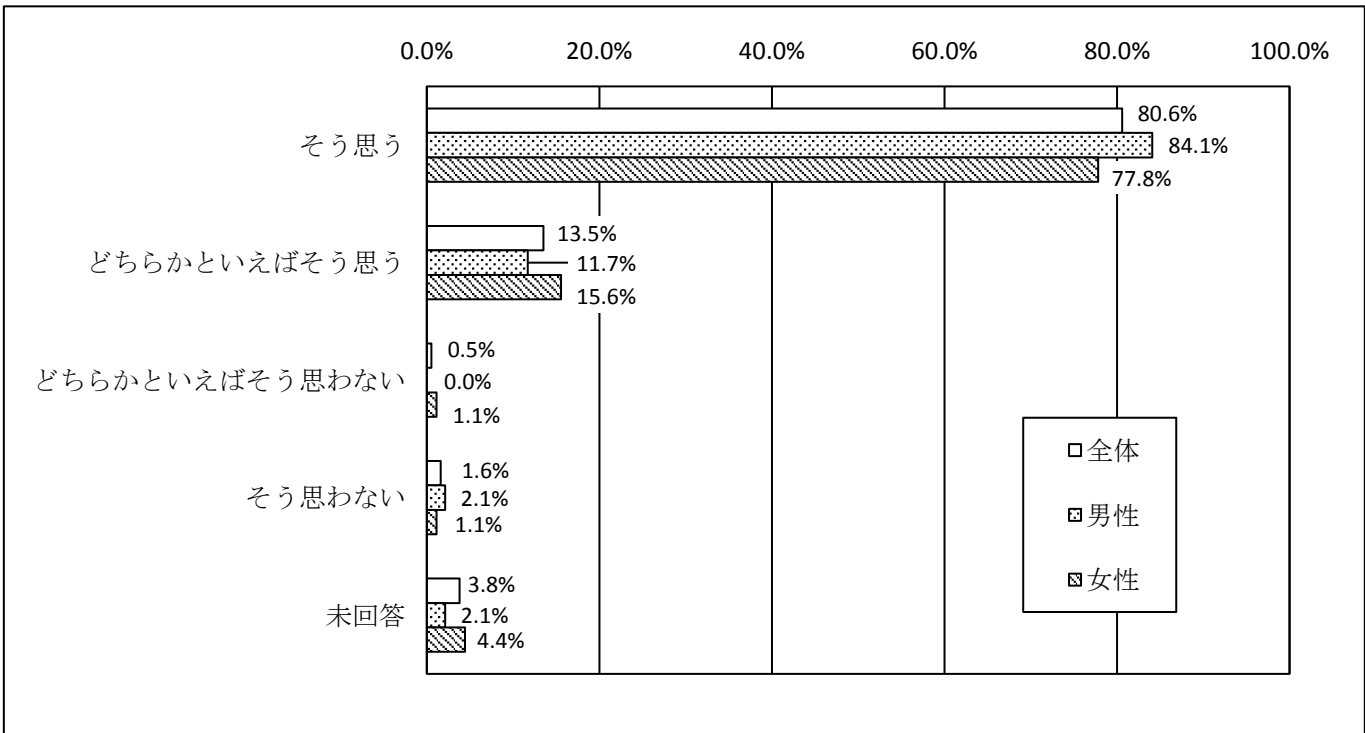
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	168	90. 8	96. 3	87	92. 6	97. 9	81	90. 0	95. 6
どちらかといえばそう思う	10	5. 5		5	5. 3		5	5. 6	
どちらかといえばそう思わない	0	0. 0	0. 5	0	0. 0	0. 0	0	0. 0	1. 1
そう思わない	1	0. 5		0	0. 0		1	1. 1	
未回答	6	3. 2		2	2. 1		3	3. 3	
計	185	100		94	100		90	100	



(9) 相手が嫌がっているのに、無理やり身体を触ったりする

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性の割合が高くなっています。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	149	80. 6	94. 1	79	84. 1	95. 8	70	77. 8	93. 4
どちらかといえばそう思う	25	13. 5		11	11. 7		14	15. 6	
どちらかといえばそう思わない	1	0. 5	2. 1	0	0. 0	2. 1	1	1. 1	2. 2
そう思わない	3	1. 6		2	2. 1		1	1. 1	
未回答	7	3. 8		2	2. 1		4	4. 4	
計	185	100		94	100		90	100	



※DV行為の種類

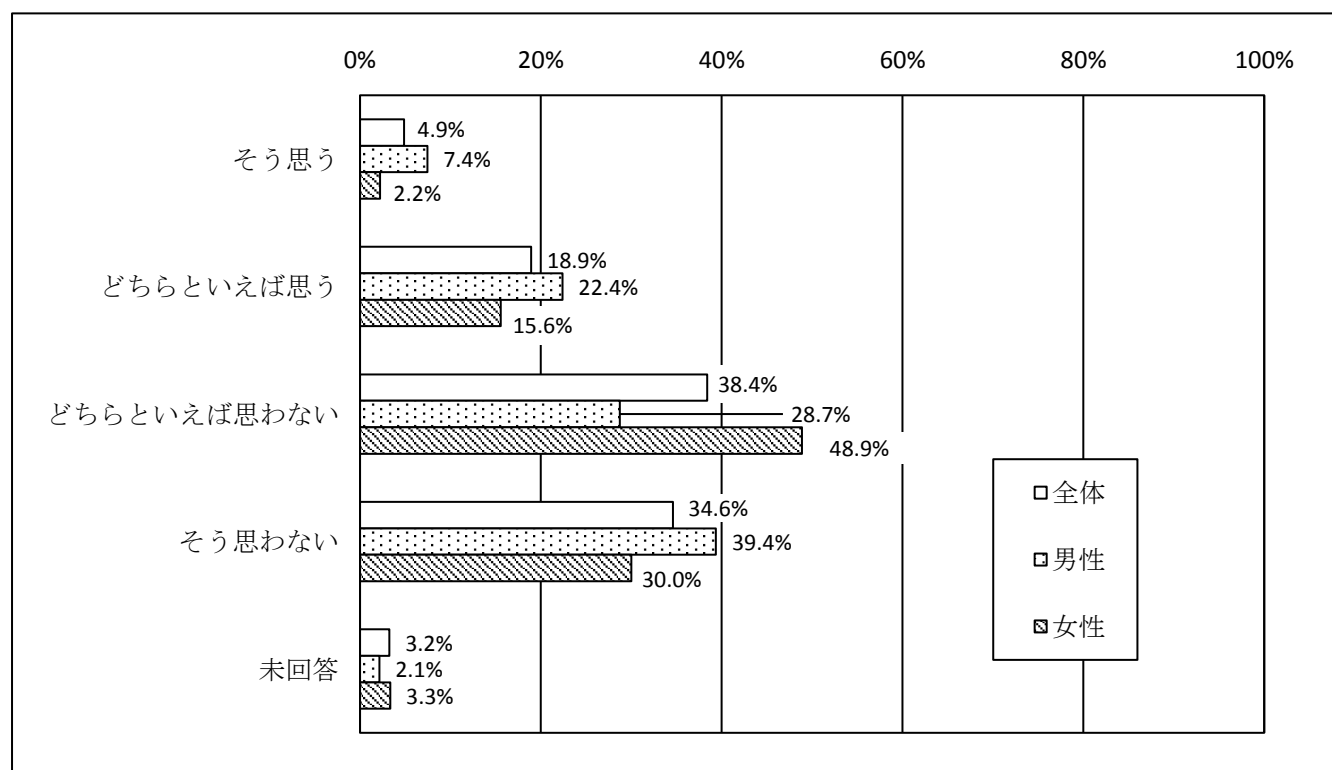
1. 身体的暴力：相手に物を投げる、叩くなど
2. 心理的感情的暴力：汚い言葉を言う、無視する、嫌がらせ、ストーキング、頻繁に電話をかけてくる、過剰な嫉妬など
3. 性的暴力：自主的な承諾なしのあらゆる性的な物理的接触
4. 経済的暴力：お金を貢がせる、お金を借りて返さないなど

問9. 次の考え方について、あなたの考え方に一番近いものに○をつけてください。

(1) DV行為を受けるのは、DV行為を受けるほうにも悪いところがあるからだ

7割以上の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高くなっています。

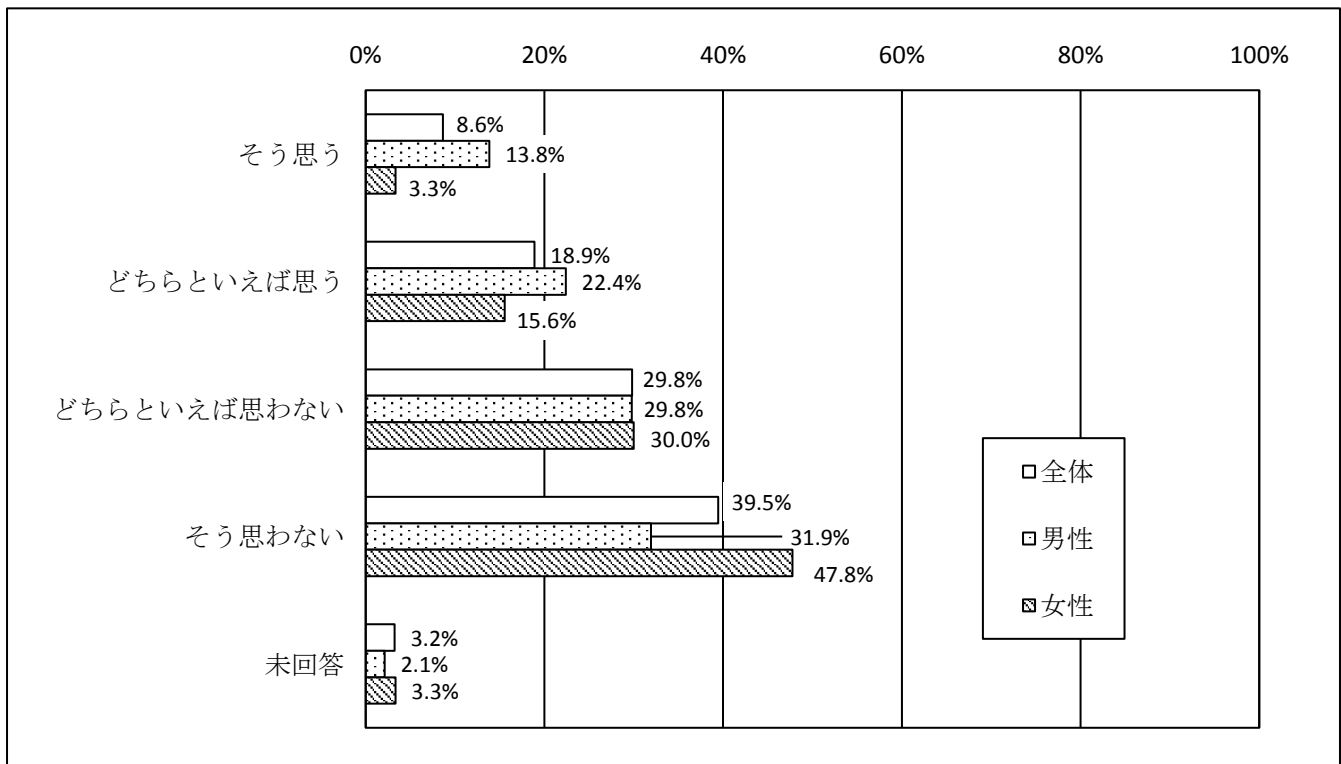
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	9	4.9	23.8	7	7.4	29.8	2	2.2	17.8
どちらかといえばそう思う	35	18.9		21	22.4		14	15.6	
どちらかといえばそう思わない	71	38.4	73.0	27	28.7	68.1	44	48.9	78.9
そう思わない	64	34.6		37	39.4		27	30.0	
未回答	6	3.2		2	2.1		3	3.3	
計	185	100		94	100		90	100	



(2)家の中で起こるDVは、家庭内で解決すべきだ

約7割の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高くなっています。

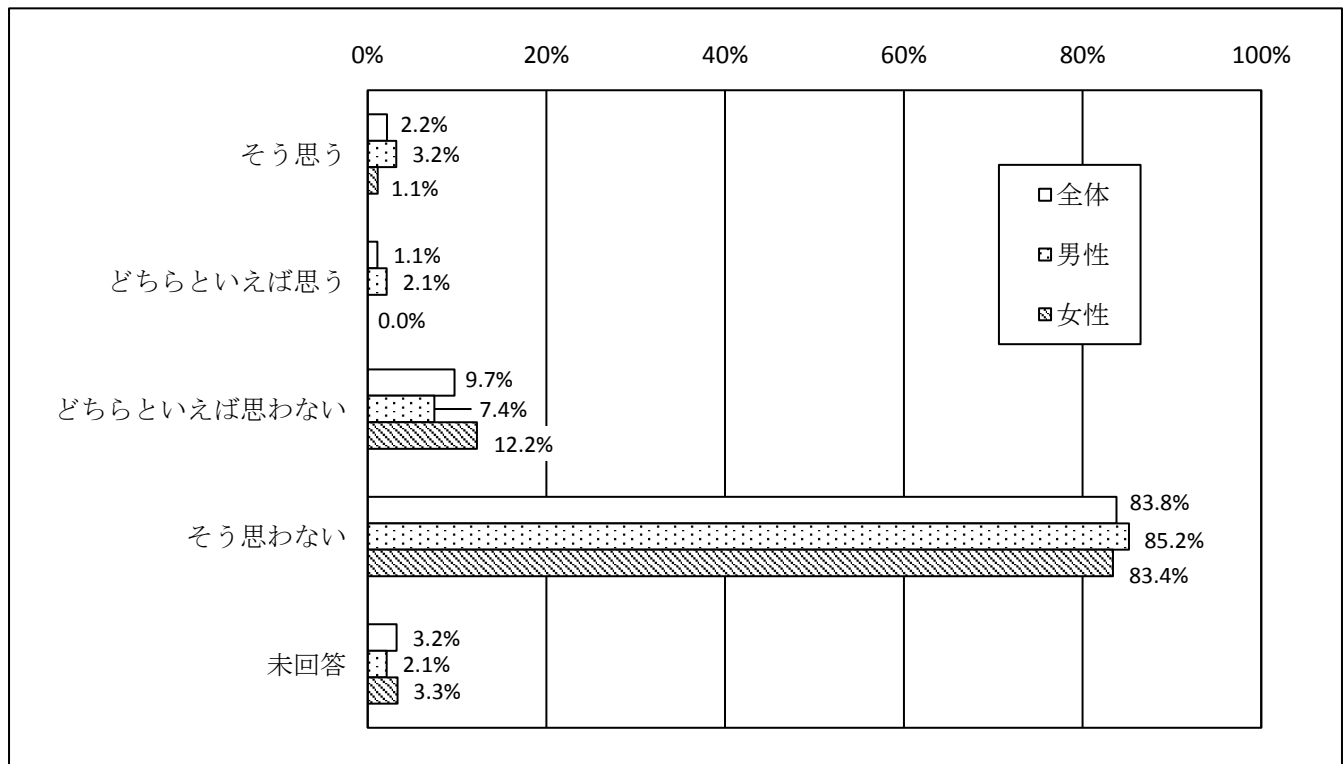
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	16	8.6	27.5	13	13.8	36.2	3	3.3	18.9
どちらかといえばそう思う	35	18.9		21	22.4		14	15.6	
どちらかといえばそう思わない	55	29.8	69.3	28	29.8	61.7	27	30.0	77.8
そう思わない	73	39.5		30	31.9		43	47.8	
未回答	6	3.2		2	2.1		3	3.3	
計	185	100		94	100		90	100	



(3) 男性が暴力的なのは、男らしさの証である

9割以上の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高くなっています。

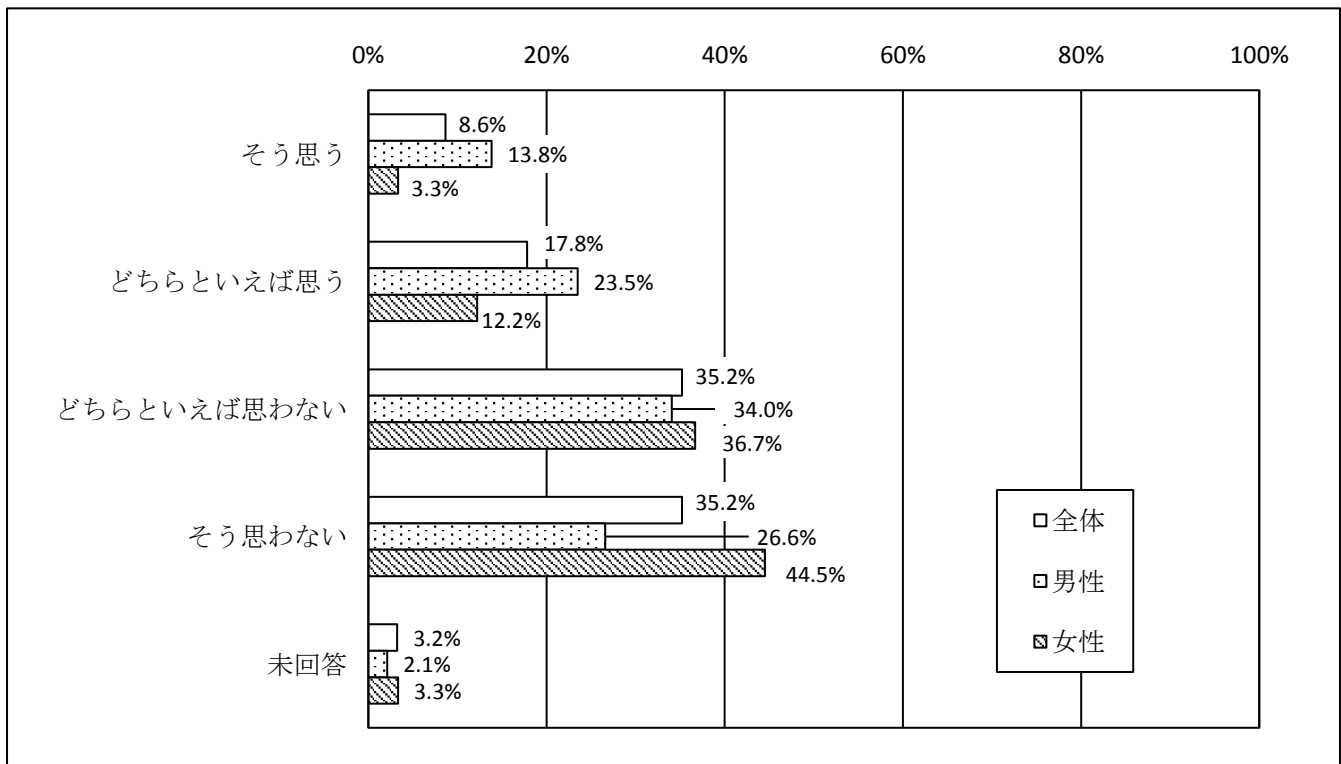
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	4	2.2	3.3	3	3.2	5.3	1	1.1	1.1
どちらかといえばそう思う	2	1.1		2	2.1		0	0.0	
どちらかといえばそう思わない	18	9.7	93.5	7	7.4	92.6	11	12.2	95.6
そう思わない	155	83.8		80	85.2		75	83.4	
未回答	6	3.2		2	2.1		3	3.3	
計	185	100		94	100		90	100	



(4) DV行為を受けても話し合いで解決できるはずだ

約7割の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高くなっています。

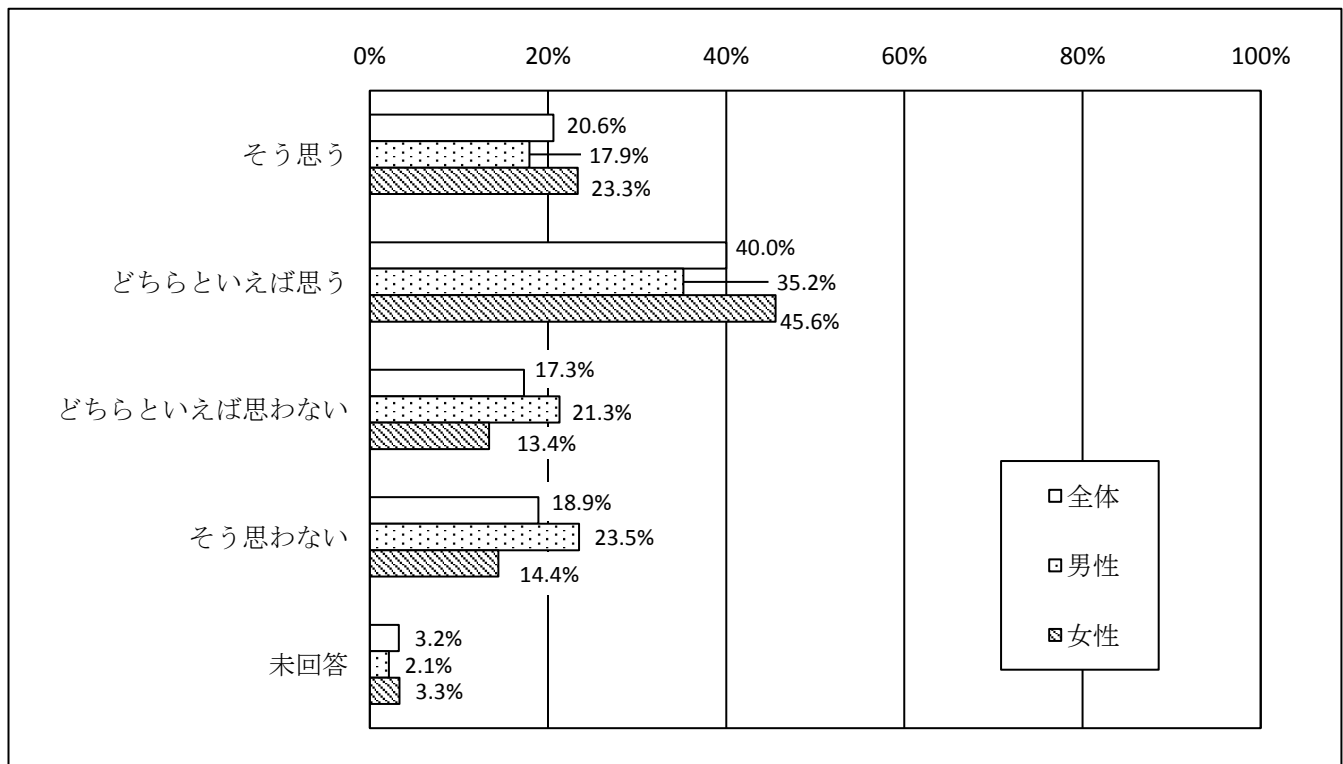
	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	16	8.6	26.4	13	13.8	37.3	3	3.3	15.5
どちらかといえばそう思う	33	17.8		22	23.5		11	12.2	
どちらかといえばそう思わない	65	35.2	70.4	32	34.0	60.6	33	36.7	81.2
そう思わない	65	35.2		25	26.6		40	44.5	
未回答	6	3.2		2	2.1		3	3.3	
計	185	100		94	100		90	100	



(5) 女性に対するDVの背景には女性差別がある

約6割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高くなっています。

	全体			男性			女性		
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)	
そう思う	38	20.6	60.6	17	17.9	53.1	21	23.3	68.9
どちらかといえばそう思う	74	40.0		33	35.2		41	45.6	
どちらかといえばそう思わない	32	17.3	36.2	20	21.3	44.8	12	13.4	27.8
そう思わない	35	18.9		22	23.5		13	14.4	
未回答	6	3.2		2	2.1		3	3.3	
計	185	100		94	100		90	100	



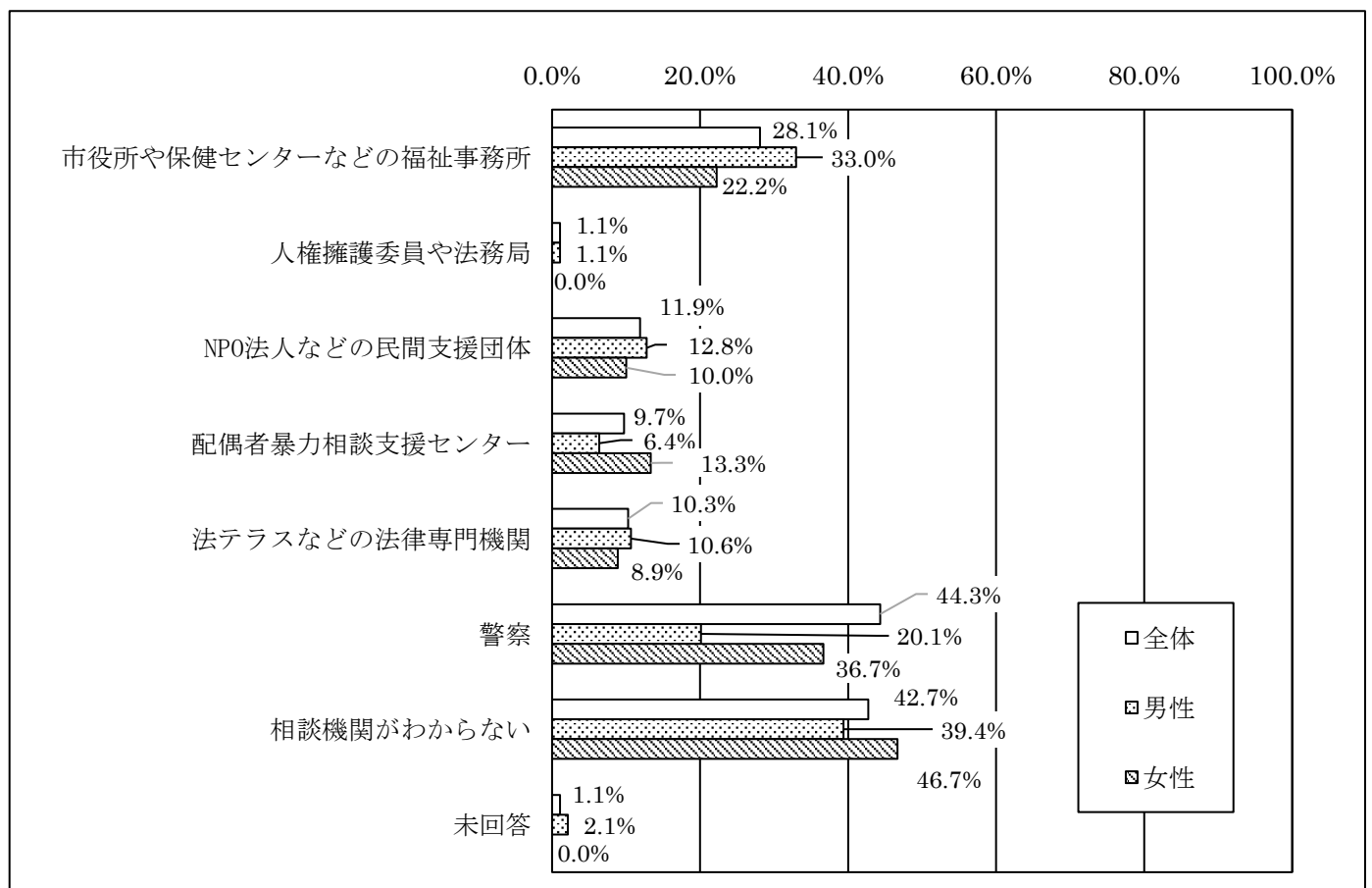
・DV行為に関する相談機関について

問10. あなたは、デートDV等に関する相談機関を知っていますか。(複数回答)

「警察」の割合が最も高く、4割以上の生徒が回答しましたが、次いで「相談機関がわからない」の割合が高くなりました。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
市役所や保健センターなどの福祉事務所	52	28.1	31	33.0	20	22.2
人権擁護委員や法務局	2	1.1	1	1.1	0	0.0
NPO 法人などの民間支援団体	22	11.9	12	12.8	9	10.0
配偶者暴力相談支援センター	18	9.7	6	6.4	12	13.3
法テラスなどの法律専門機関	19	10.3	10	10.6	8	8.9
警察	82	44.3	49	20.1	33	36.7
相談機関がわからない	79	42.7	37	39.4	42	46.7
未回答	2	1.1	2	2.1	0	0.0

※全体、男性、女性の各割合は、それぞれの生徒数に対する割合



・性別に関わらず、生きやすい社会にするために必要なことについて

問11. あなたは、「女性にとっても男性にとっても生きやすい社会」にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。(自由回答)

男女平等な社会づくり

- ・社会全体から「女性らしさ」「男性らしさ」というものをなくす。
- ・男女問わず仕事をできるようにして、賃金も男女同じにすればいいと思う。
- ・小学校、中学校、高校において男女を分けて教育することをやめる。女子が大声で笑ったら「はしたない」と言ったり、男子であるから女子より多く運動させるなどの、子どもの頃からの教育のせいで男女差別はなくなる。
- ・この仕事は男性だけ、女性だけと決めつけずに男女とも協力すべき。
- ・女性だから力仕事ができない、させない、男性だから家計を支えるために働き、家事をしなくてよいなどの考えをなくし男女平等にする。
- ・女性が家事をしなければならないという昔の考え方をやめる。
- ・固定概念を撤廃する。
- ・男女関係なく就職できる環境を整える。
- ・男性にも女性にも活躍の場を設ける。

男女がお互いを理解し尊重し合う、思いやる

- ・性の違いをお互いに理解する。
- ・お互いの性格や心、人間関係、プライベートなこと等をしっかり尊重して互いに手を取りながら生きていく。
- ・お互いの個性を認め合い、気遣いながら生活していくことが必要だと思う。
- ・女性も男性も平等に生活しやすい社会にするためには、お互いを尊重して、支え合って生活するべきだと思う。
- ・できないことは助け合う。
- ・お互いのことを知る機会を作るべき。
- ・一人ひとりみんなを尊重する。

その他

- ・差別をなくす法律を作るべき。
- ・男女それぞれでできる行動、できない行動は制限せずに男でも女でも性別関係なく行動すればいいと思う。また、少しずつ違いを受け入れる広い心を持つ。
- ・男女ともに、政治的、経済的、社会的に責任を持ち、デートDVなどを起こさないように相手としっかりコミュニケーションをとって、相手の気持ちを考えてあげる。
- ・今の日本は考えが固定化されていることが多いと思うので、もっと男女で考えを共有し合いながら、少しずつでも差別的な考えがなくなるといいと思う。
- ・男女分け隔てなく産休、育休を取りやすくする制度を作る。
- ・男性、女性というように性別をあまり意識しないようにするとよいと思う。性別は二つではないと思うから、本当にすべての人が平等な社会とはどういうものなのか考えていくことが必要。
- ・人間であるから差別や偏見を持ってしまうのは仕方のないことだと思うので、それを言動に出さないことを一人ひとり意識していくことが必要だと思う。

- ・力で解決しようとなない。男性、女性どちらでもリーダーシップのある者が先頭に立って物事を進めていけばよい。
- ・小学校、中学校、高校共学の学校に通う。
- ・企業や団体が大きな協力をする。意識だけでも必要だと思う。
- ・会社や学校の権力者、指導者（先生や〇〇長など）にあたる人が男女差別の傾向がある場合、その立場から降ろした方がよい。
- ・男性、女性に対する昔からの偏見や固定概念を捨て、家庭内、幼稚園や保育園、学校などでそういった教育をしていくべきだと思う。また、職場でもそういった雰囲気を作るべきだと思う。
- ・就職した際に、会社や企業でDVについてのDVD等を使用した講座を開催するとよいと思う。
- ・企業の中に、子どもを預けられるようにする。
- ・政治などに女性がもっと参加する。
- ・まず大人が差別をやめる。